

ねとわあく

創刊号



目次

知事と語る.....	2
女性の手で新しい時代を.....	4
家庭では	
地域では	
職業では	
ティータイム.....	12
女らしさとは	
婦人のための事業紹介.....	13
海外スポット.....	14
私のみたアメリカの婦人	
はじめまして.....	15
婦人の力でレタスの産地化	



静岡県

知事と語る

このたび、静岡県では婦人問題に関するいろいろな情報を広くお知らせし、みなさまとともに考えていく、婦人のための情報誌「ねっとわあく」を発行することになりました。

この「ねっとわあく」が、婦人の連帯の輪を広げ、婦人の力を社会の発展にいかす助けになることを期待しています。

創刊にあたって、山本敬三郎知事に婦人編集員がお話しをうかがいました。

「大きな変化の時代」

「わたしたち女性も、これからは世の中の動きにもっと関心を持っていかねければいけないと思います。いまの時代を基本的には、どのように理解しておいたらよいのでしょうか。」

高度経済成長時代の終わり

知事 私は、想像以上に大きな変化の時代だと思っています。

高度経済成長の時代は、日本が奇跡的に発展した時代だったのです。

技術立国への道

では、これからはどうするかとい

— 社会環境の中で — 役割は大きい...

うと、一億二千万の人口をかかえ、狭い国土で、資源の何もない日本です。すから、民族のもっているすばらしい能力をいかして、技術で生きる以外にはないのです。

いままでも産業の中心であった石油化学工業や、アルミ、造船などの重化学工業から、超L S Iや新素材などの先端技術産業を中心とした技術集約型へと、産業構造ががらりと変わっていかざるを得ないと思います。

このように、経済社会の基本的な構造が大きく変わるということを、まず理解しておくことが必要です。

「物の豊かさより心の豊かさ」

新しい時代に適応していくために、わたしたち女性が取り組まなければならない課題も多いと思いますが、どのようなことが求められているのでしょうか。

「新しき時代に適応していくために、わたしたち女性が取り組まなければならない課題も多いと思いますが、どのようなことが求められているのでしょうか。」

うるおいのある地域

社会づくりへの参加

知事 皆さんの家のタンスの中をちよっと調べてみてください。恐らくいっぱいでしょうね。ある調査では、下駄箱の中に一世帯平均五十足のくつがあるそうです。物があふれているのです。

これからは物ではないことに価値を置く時代になります。芸術や文化はもちろんですが、人々の連帯感にもとづいた地域社会での活動に生きがいを見いだす人が多くなります。特に子育てから一応手が離れ、比較的自由時間のある女性のなかには、地域で世のため人のために役立ちたいという人が多いと思います。こ

いう人々の意欲や能力を引き出し、うるおいのある地域社会づくりをしていくことが大切です。

文化の時代は女性の時代

江戸時代、経済が低成長になったとき文化の花が咲きました。このときと同じように、これからは文化の時代になります。いままでは生産に追われ、生活のことがあまわしになっていった傾向があります。もちろん生産は大事です。しかし、同時に生活を重視していかなければなりません。

生活者とはだれか、といえば、それは地域に密着し、家庭を守り、子供を産み育てている女性なのです。この意味で女性がこれからの時代の鍵を握っているといえます。

「次の時代を担う青少年の育成」

「子供を産み育てる女性として、青少年の最近の問題には、関心があり責任

— うつり変わる — 女性の

も感じているのですが……。

子供の可能性を引き出す

知事 青少年の問題は非常に重要だと考えています。

これは学校と保護者だけに任せておくのではなく、地域社会全体で取り組まなければならないのではないのでしょうか。

いまの子供たちに一番欠けている点は、自分がうち込むものを持っていないことです。何をやりたいかわからないのです。非行をやめると言うより、子供の持っている可能性を引き出すことが大切です。

人間は他の動物とくらべて、母親のお腹にいる期間が短いのだそうです。ですから、生まれてからある期間、親の愛情が絶対に必要です。親の愛情がなくてよい子供が育つはずがありません。母乳で育てることなど大切ですね。青少年を育てるところでは女性の力に期待するところが大きいと思います。

「女性の時代の到来」

「女性への期待が大きいです。社会の発展に積極的に女性が貢献するために何が必要でしょうか。」

知事 私は、女性が活躍する時代が必ずくると思います。

日本はまだそこまではいっていないのですが、技術革新が進めば、女性の活躍する場は広がってきます。企業においても、女性が十分戦力になり得るのです。

私たちの生活も、これからは欧米先進国のように休暇をとり、生涯学習型の生活を築きむようにならなければなりません。その時、はじめて女性が能力を発揮して社会に貢献することができるようになるのでしょうか。

「おいそがしいところ、今日はどうもありがとうございます。」



女性の手で

今、女

新しい時代を

性に求められているものは……



この婦人のための情報誌を「ねっとわあく」と名づけました。
「ねっとわあく」では、みなさまのなかから応募していただいた婦人編集員五名の協力を

を得て、みなさまの身近に起こっている具体的なことから通して、これからの女性の生き方をともに考えていきたいと思っております。

八〇年代は女性の時代だと言われています。このように言われている背景には二つのことが考えられます。一つは、明治時代日本の近代化が始まって以来、最近の高度経済成長の時代に至るまで、わたしたちは一貫して欧米先進国に追いつくことを目標にして、生活の物的な豊かさを求めてきました。しかし、すでにアメリカに次ぐ経済大国に発展したいま、生活の量的な豊かさではなく、生活の内容の豊かさを見直そうという気運が強まってきています。こうした傾向のなかで、家庭や地域社会に密着した生活者としての女性の発想が、新しいこれからの社会を築いていくために必要だとされているということです。

もう一つの背景は、近年、女性の平均寿命は八十歳近くまで延びました。一人の女性が産む子供の数は年々減少して、平均一・七四人になりました。また、高等学校や大学への進学率も高まって、専門的知識や高い能力を持つ女性が増えていきます。このような女性の生活の変化は、従来、女性の社会的役割であると一般的に考えられていた、家庭を守り、子供を産み育てるという領域を超えて、社会のさまざまな分野で女性が活躍することを可能にしました。そしてこの女性の社会的活力は、今後の社会全体の発展を左右する大きな力として無視することができなくなってきたということです。

女性の時代とは、これからの新しい社会を築く鍵を女性が握っていることを意味しています。そして同時に、女性が社会の発展に積極的に参加して、その責任の半分は自ら担っていかねばならない時代でもあります。しかし、現状では、従来女性の社会的責任だとされていた領域を超えて、社会に参加して行く過程には、さまざまな問題が横たわっています。

従来、社会を長い間形成してきた制度や人々の意識、生活習慣など女性の社会参加を阻む要因は、社会の広い分野で根深く残っています。また、女性が社会参加をしていくことによって、家庭のあり方はどのようになるのか、地域社会はどう変わるか、社会のしくみはどうなるのか、必ずしも明確な展望が開けているとは言えない現状でもあります。

しかし、平和で活力があり、男性も女性も本当に人間らしい生活ができる新しい社会を築いていくために、女性の大きな活力が必要であることは疑う余地はありません。本来の意味で女性の時代が到来し、女性が新しい時代を拓く力となるために、いま必要なことは、まず、女性自身が自らの生き方について考え、話し合い、協力して行動を起こす女性同士のネットワークを形成することではないでしょうか。こうした願いをこめて、